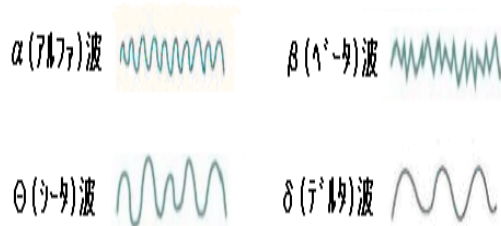


## 脳波検査とは

★ 脳が活動している様子を頭皮から「波」として記録します。「波」には形によってδ波（デルタ波）、θ波（シータ波）、α波（アルファ波）、β波（ベータ波）などの名前が付けられます。成人の場合、安静にして目を開いているとベータ波が、目を閉じているとアルファ波が現れ、熟睡しているとデルタ波が現れます。正しい時に正しい「波」が出ているかをみることで脳の働き具合を調べます。

## 脳波検査でわかること

★ 主に「てんかん」や「意識障害」の原因を探すために用いられる検査です。★ 脳に何らかの障害が存在すると、それが通常では見られない「異常な波」となって現れることがあり、この波を見つけることを目的としています。★ ただ目を閉じて記録をするだけでは「異常な波」を見つけれない場合があるため、寝ている状態や深呼吸など、脳に刺激をあたえながら検査をしていきます。



## 脳波検査のあれこれ

### Q&A よくある質問にお答えします

Q: どの様に検査するのですか？

A: 頭にたくさんの電極をつけて脳からの信号を記録します。



Q: なぜたくさんの電極をつけるのですか？

A: 脳を全体的にいろいろな方向から調べることで、どの部位にどのような異常があるかを推察することができるからです。

Q: 電気で感電しませんか？ 痛いのですか？

A: 感電はしませんし、痛みもありません。脳から出る弱い電流を機械で記録する検査です。

Q: 検査をしても異常は無いと言われたのに、なぜまた検査をするのですか？

A: その日の体調や、薬の効き具合などでも脳の状態は変化するため、間隔を空けて検査をすることがあります。

Q: 寝ていないと検査できないのですか？ (小児・幼児・乳児の場合)

A: 起きていても検査が可能な場合もありますが、検査ではとても小さな電気信号を記録します。そのため、起きていて動くと別の大きな信号（例えば筋肉の動き）が入り込み、正しく検査ができなくなりますので、医師の指示に従い検査に臨んで下さい。